

2011年4月

カンキツ
(オレンジ類)

Citrus

(*Citrus* L.)

ORANGE

オレンジ類審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科 (*Rutaceae*) カンキツ属 (*Citrus L.*) の、別表 1 に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 芽接ぎ可能な芽を着けた枝
- ii) 数量 5 本 (20 以上の正常な芽接ぎが可能なもの)
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 5 本
- iii) 栽培期間 正常な果実が収穫できる 2 生育周期
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 5 個体又は各個体から 2 個採取した部分 10 個とする。
 - 調査時期 特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)~(f)で示した時期に行う。
 - (a) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉について行う。
 - (b) 花芽及び花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花芽及び花について行う。開花した花に関する形質は、開花初日に行う。
 - (c) 果実に関する形質は、収穫適期 (適食期)に行う。毎週調査して、収穫適期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。
 - (d) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の中央部で調査する。
 - (e) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
 - (f) 種子に関する形質は、収穫した果実からの新鮮な種子で調査する。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一

般基準に基づくものとする。

均一性の判定は、供試個体数が5の場合、許容される異型個体数は0である。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 果実の長さ (形質 29)
- ii) 果実の直径 (形質 30)
- iii) 果実の表面の色 (形質 51)
- iv) 果実のへその有無 (形質 73)
- v) 適食期 (形質 88)
- vi) 単為結果性 (形質 89)
- vii) 自家不和合性 (形質 90)

VI. 特性表で使用する記号の説明

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 必須形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

別表 1

学名	下位群	一般名	和名
<i>Citrus aurantium</i> L.	SOR	サワーオレンジ	ダイダイ
<i>Citrus aurea</i> hort. ex Tanaka	SWO	スイートオレンジ	川畑
<i>Citrus canaliculata</i> hort. ex Yu. Tanaka	SOR	サワーオレンジ	菊ダイダイ
<i>Citrus funadoko</i> hort. ex Yu. Tanaka	SWO	スイートオレンジ	舟床
<i>Citrus iriomotensis</i> hort. ex Tanaka, nom. nud.	HOR	オレンジ交雑種	フサラ
<i>Citrus luteoturgida</i> hort. ex Tanaka, nom. nud.	SWO	スイートオレンジ	デーデー
<i>Citrus maderaspatana</i> hort. ex Tanaka	SOR	サワーオレンジ	キチリー
<i>Citrus myrtifolia</i> Raf.	SOR	サワーオレンジ	キノット
<i>Citrus neoaurantium</i> Tanaka	SOR	サワーオレンジ	サツマキコク
<i>Citrus oblonga</i> hort. ex Yu. Tanaka	SWO	スイートオレンジ	ダエンカン
<i>Citrus papillaris</i> Blanco	HOR	オレンジ交雑種	チゾン
<i>Citrus pseudopapillaris</i> Tanaka	HOR	オレンジ交雑種	バラガオレンジ
<i>Citrus rokugatsu</i> hort. ex Yu. Tanaka	SOR	サワーオレンジ	ロクガツミカン

<i>Citrus shunkokan</i> hort. ex Tanaka	SWO	スイートオレンジ	春光柑
<i>Citrus sinensis</i> (L.) Osbeck	SWO	スイートオレンジ	スイートオレンジ
<i>Citrus sinograndis</i> hort. ex Yu. Tanaka	SWO	スイートオレンジ	オオトウミカン
<i>Citrus taiwanica</i> Tanaka & Y. Shimada	HOR	オレンジ交雑種	ナンショウダイダイ
<i>Citrus ujukitsu</i> Tanaka	SWO	スイートオレンジ	ウジュキツ
<i>Citrus yanbaruensis</i> hort. ex Tanaka, nom. nud.	SOR	サワーオレンジ	ユークニブ

網掛け：種苗法施行規則第5条で定める願書（別紙様式第1号）に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	検定	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid		
2	2	PQ (* (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後3年生以上の樹の型	観察	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping		
3	3	QN	枝のとげの密度	Tree: density of spines	枝のとげの密度	観察	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	ワシントンネーブル	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ	観察	3 5 7	短 中 長	short medium long		
5	5	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ(複葉 の場合は先端小葉)	測定 cm (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ワシントンネーブル	
6	6	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 5)	成葉の葉身の幅(複葉の 場合は先端小葉)	測定 cm (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 5)	成葉の葉身の長さとの比 (複葉の場合は先端小葉)	測定 (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
8	8	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 5)	成葉の葉身の中央部の横断面の形 (複葉の場合は先端小葉)	観察 (a)	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave	ワシントンネーブル	
9	9	QN	葉身のねじれの強弱	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの程度	観察 (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ワシントンネーブル	
10	10	QN	葉身の凹凸の強弱	Leaf blade: blistering	成葉の葉身の表面の凹凸の程度	観察 (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ワシントンネーブル	
11	11	QN	葉身の緑色の濃淡	leaf blade: green color	成葉の葉身の表面の緑色の程度	観察 (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ワシントンネーブル	
12	12	PQ	葉身の周縁の波打ちの強弱	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身の周縁の波打ちの程度	観察 (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ワシントンネーブル	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身の周縁の鋸歯の形	観察 (a)	1 2 3	無 鈍鋸歯 歯状	absent crenate dentate		
14	14	PQ (+)	葉身の先端の形	Leaf blade: shape of apex	成葉先端部の形	観察 (a)	1 2 3 4	鋭尖 鋭 鈍 円	acuminate acute obtuse rounded		
15	15	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉先端の切れ込みの有無	観察 (a)	1 9	無 有	absent present	ワシントンネーブル	
16	16	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハレシヤ	
17	17	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (a)	1 9	無 有	absent present		
18	18	QN	葉柄の翼葉の幅	<u>Varieties with petiole wings present only:</u> Petiole: width of wings	成葉葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
19	19	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	バレンシア	
21	21	QN	花弁の幅	lower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
22	22	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さ と幅の比	測定 (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
23	23	QN	雄しべの長さ	Flower: length of stamens	開葯前の雄しべの長さ	測定 (mm) (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
24	24	QL	雄しべ基部の融合の有無	Flower: basal union of stamens	雄しべ基部の融合の有無	観察 (b)	1 9	無 有	absent present		
25	25	PQ	やくの色	Anther: color	開葯前の葯の色	観察 (b)	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow		
26	26	QL	稔性花粉の有無	Anther: viable pollen	稔性を持つ花粉の有無	検定 (b)	1 9	無 有	absent present		
27	27	QN	花柱の長さ	Style: length	開葯時の花柱の長さ	観察 (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	PQ	花柱の形	Style: shape	開葯時の花柱の形	観察 (b)	1 2 3	直 弓形 よじれ	straight arched kinked	ワシントンネーブル	
29	29	QN (* G	果実の長さ	Fruit: length	果実の長さ	測定 (cm) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
30	30	QN (* G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 (cm) (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
31	31	QN (*	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の比	測定 (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
32	32	QN (*	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の最大幅の位置	観察 (c)	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	ワシントンネーブル	
33	33	PQ (+)	果実の果梗部の形 (ネック、カラー及び梗あは、含まない。)	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗側の形 (ネック、カラー及び梗あは含まない。)	観察 (c)	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered		
34	34	QL (*	果実の果梗部の凹みの有無 (ネック)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit:	収穫適期の果実の果梗部のへこみの有無 (ネック)	観察 (c)	1 9	無 有	absent present	ワシントンネーブル	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
		(+)	のない品種に限る。)	presence of depression at stalk end	のない品種に限る。)					ル	
35	35	QN	果実の果梗部の凹みの深さ（ネックのない品種に限る。)	<u>Only varieties without fruit neck:</u> Fruit: depth of depression at stalk end	果実の梗あゝの深さ（ネックのない品種に限る。)	観察 (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ワシントンネーブル	
36	36	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の数	観察 (c)	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	ハレンシア	
37	37	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の長さ	観察 (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
38	38	QL (+)	果実のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実のカラーの有無	観察 (c)	1 9	無 有	absent present		
39	39	QN (+)	果実の果頂部の形	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起や凹環は含まない）	観察 (c)	1 2 3	平 やや丸 丸	flattened slightly rounded strongly rounded		
40	40	QL (* (+)	果実の果頂部の凹みの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部の凹み（蒂あゝ）の有無	観察 (c)	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41	QL (*)	果実の果頂部の環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の花柱痕周りの環状模様	観察 (c)	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete		
42	42	QL (+)	果実の果頂部の環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の環の状態	観察 (c)	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged		
43	43	QN	果実の果頂部の環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の環の直径	測定 mm (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
44	44	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
45	45	PQ	果実の花柱の残存	Fruit: persistence of style	果実への花柱の残存の程度	観察 (c)	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
46	46	PQ	果実の果頂部のへその開きの有無	Fruit: presence of navel opening	果実の果頂部のへその開きの有無	観察 (c)	1 2 3	無 たまに有 常に有	absent occasionally present always present	バレンシア ワシントンネーブル	
47	47	QN	果実の果頂部のへその開きの大きさ	Fruit: diameter of navel opening	果実の果頂部のへその開きの直径	観察 (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	QN	果実の果頂部のへその隆起の強弱	Fruit: bulging of navel	果実の果頂部のへその隆起の程度	観察 (c)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
49	49	QL	果実の果頂部の放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の有無	観察 (c)	1 9	無 有	absent present		
50	50	QL	果皮の斑の有無	Fruit: color variegation	果実の斑の有無	観察 (c)	1 9	無 有	absent present		
51	51	PQ (* G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color	果実の表面中央部の主な色	観察 (c) (d)	1 2 3 4 5	黄橙 橙 濃橙 橙赤 赤	yellow orange medium orange dark orange orange red red	ワシントンネーブル	
52	52	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の果面の粗滑の程度	観察 (c) (d)	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough		
53	53	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面中央部の油胞の大きさ	観察 (c) (d)	1 2	ほぼ同じ大きさ 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	54	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面中央部の大油胞の大きさ	観察 (c) (d)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
55	55	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面中央部の大油胞の目立つ程度	観察 (c) (d)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
56	56	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面中央部の油胞の凹凸	観察 (c) (d)	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present		
57	60	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果皮の厚さ	観察 (c) (d)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		
58	61	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さの程度 (果皮の硬さ、むきやすさなど)	観察 (c) (d)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
59	62	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (c)	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 桃 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish		
60	63	QL	果肉内の着色斑点の有無	Fruit: differently colored specks in flesh	果肉内の果肉色と異なる色の斑点の有無	観察 (c) (e)	1 9	無 有	absent present		
61	64	QL	複色のじょう囊の有無	Fruit: bicolored segments	果実内の複色のじょう囊の有無	観察 (c) (e)	1 9	無 有	absent present		
62	65	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主たる色	観察 (c) (e)	1 2 3 4	淡橙 橙 濃橙 赤	light orange medium orange dark orange red	ワシントンネーブル	
63	66	QL	果肉の苦味の有無	Fruit: bitterness of flesh	果肉の苦味の有無	観察 (c) (e)	1 9	無 有	absent present		
64	67	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心のつまりの程度	観察 (c) (e)	1 3 5	無又は極粗 粗 中	absent or very sparse sparse medium	ワシントンネーブル	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							7 9	密 極密	dense very dense		
65	68	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (c) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
66	69	QN	不完全じょう囊の出現の強弱	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょう囊の出現程度	観察 (c) (e)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
67	70	QN	じょう囊の数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょう囊の数	測定 個 (c) (e)	3 5 7	少 中 多	few medium many		
68	71	QN	じょう囊膜の密着性	Fruit: coherence of adjacent segment walls	隣接したじょう囊膜どうしの密着の程度	観察 (c) (e)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
69	72	QN	じょう囊膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	じょう囊膜の強さ	観察 (c) (e)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
70	73	QN	砂じょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	砂じょうの長さ	観察 (c) (e)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
71	74	QN	砂じょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	砂じょうの太さ	観察 (c) (e)	3 5 7	細 中 太	thin medium thick		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
72	76	QN	砂じょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	砂じょうどうしの密着の程度	観察 (c) (e)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
73	77	PQ (* G	果実のへその有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実のへその有無 (果実内部にあるもの)	観察 (c)	1 2 3	無又は極希 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	ワシントンネーブル	
74	78	QN	果実のへその大きさ	Fruit: size of navel (viewed internally)	果実のへその大きさ (果実内部にあるもの)	観察 (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ワシントンネーブル	
75	79	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少	観察 (c)	3 5 7	少 中 多	low medium high		
76	80	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分含量 (Brix)	測定 度 (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high	ワシントンネーブル	
77	81	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度 (クエン酸)	測定 % (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
78	82	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	果肉の繊維の強さ	観察 (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ワシントンネーブル	
79	83	QN (+)	自家受粉させた場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)	自家受粉させた時の1果当たりの種子数	測定 個 (c)	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many		
80	84	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉させた時の1果当たりの種子数	測定 個 (c)	1 3 5 7	無又は極少 少 中 多	absent or very few few medium many	ワシントンネーブル	
81	85	QL (*)	多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (f)	1 9	無 有	absent present	ハレソシア	
82	86	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
83	87	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の幅	測定 mm (f)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
84	88	QL	種子の表面の状態	Seed: surface	成熟種子表面の状態	観察 (f)	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
85	90	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子表面の色	観察 (f)	1 2 3 4 5	緑色がかった 白っぽい 黄色がかった 桃色がかった 茶色がかった	greenish whitish yellowish pinkish brownish		
86	91	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮の色	観察 (f)	1 2 3 4 5 6 7	白 淡黄 淡褐 褐 濃褐 赤 紫	white light yellow light brown medium brown dark brown red purple		
87	92	PQ	子葉の色	Only varieties with seed: polyembryony present: Seed: color of cotyledons	多胚性の種子を持つ品種のみ: 成熟種子の子葉の色	観察 (f)	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green		
88	93	QN (* G	適食期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が適食期に至る時期	測定 月日	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
89	94	QL (* (+) G	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
90	95	QL (+) G	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合性の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

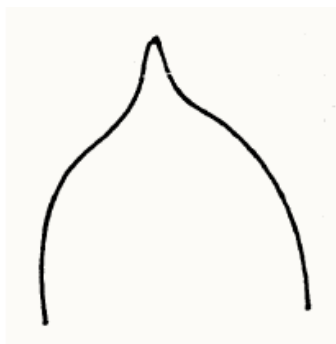
VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2 樹姿 Char. 2 Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 14 葉身の先端の形 Char.14 Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖
acuminate



2
鋭
acute



3
鈍
obtuse



4
円
round

形質 15 葉身の先端の切れ込みの有無 Char.15 Leaf blade: emargination at tip



1
無
absent

9
有
present

形質 33 果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.33 Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1
平
flattened

2
やや円
slightly rounded

3
円
strongly rounded

4
先細
tapered

形質 34 果実の果梗部の凹みの有無（ネックのない品種に限る。）

Char.34 Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



1
無
absent

9
有
present

形質 38 果実のカラーの有無 Char.38 Fruit: presence of collar



1
無
absent

9
有
present

形質 39 果実の果頂部の形

Char.39 Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal part)



1
平
flattened

2
やや丸
slightly rounded

3
丸
strongly rounded

形質 40 果実の果頂部の凹みの有無 Char.40 Fruit: presence of depression at distal end



1
無
absent

9
有
present

形質 42 果実の果頂部の環のタイプ Char.42 Fruit: type of areola



1
平
smooth

2
凹む
grooved

3
盛り上がる
ridged

形質 79 自家受粉させた場合の種子数

Char.79 Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要があり、その結果、発生する種子数を調査する。

自家受粉の試験は、10 果以上について調査する。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 80 自然受粉の場合の種子数

Char.80 Fruit: number of seeds (open pollination)

自然受粉とは、自然解放状態での受粉をいい、その結果、発生する種子数を調査する。

自家受粉の試験は、10 果以上について調査する。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 89 単為結果性の有無 Char.89 Fruit: parthenocarpy

単為結果とは、受精が行われずに子房壁や花床が肥大して果実が形成されることをいう。

単為結果性の試験は、10 花以上について調査する。

開花直前の花を選び、除雄し、他の花粉の受粉を防ぐため袋掛けをする。果実が成熟すれば単為結果性である。

形質 90 自家不和合性の有無 Char.90 Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自身の花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、受精しないものを言う。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

自家不和合性の試験は、10 花以上について調査する。

開花直前の花を選び、自身の花又は同一品種の花の花粉を人工授粉する。他の花粉の受粉を防ぐため袋掛けをする。成熟した果実に種子がなければ自家不和合性であり、種子ができた場合は和合性である。